

大学の世界展開力強化事業 -ロシア、インド等との大学間交流形成支援-

平成29年度予算額(案) 5.6億円(平成28年度予算額 2.2億円)

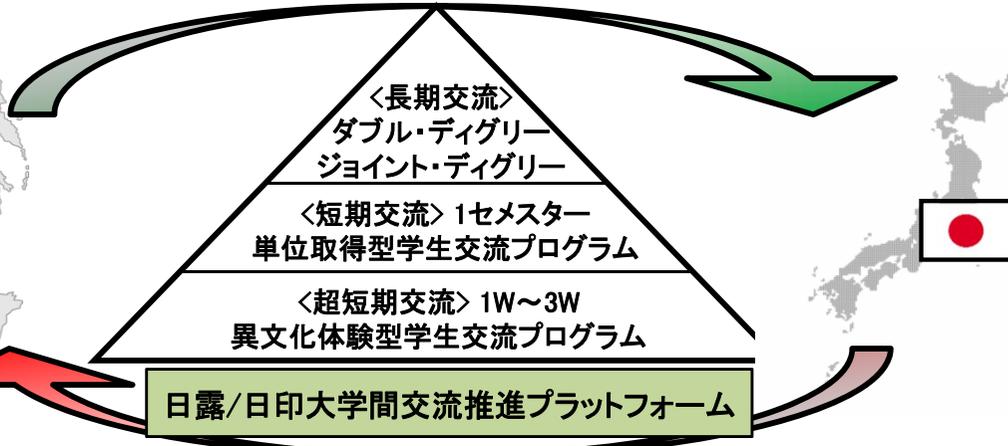
背景

- 安倍総理の「地球儀を俯瞰する外交」の中で、日露/日印間では、近年、首脳会談、外相会談等が頻繁に実施されており、その中で大学等の人的交流の拡大が安倍総理から提案、合意されている。
 - ・日露首脳会談(2016年5月6日)
安倍総理から、大学等の人的交流の抜本的拡大を含む、「ロシアの生活環境大国、産業・経済の革新のための協力プラン」(以下、協力プランと言う)が提示され、プーチン大統領から高い評価と賛意。
 - ・日露首脳会談(2016年12月15日-16日)
安倍首相から「協力プラン」の人的交流について、日露大学間交流の倍増を表明。両首脳立ち合いの下、日露大学協会に係る合意文書を交換。
 - ・日印首脳会談(2015年12月12日)
短期交流等によりインドの若手人材を1万人受け入れることが安倍総理から提案され、合意文書「日印ヴィジョン2025」に記載。
 - ・日印首脳会談(2016年11月11日)
両首脳の間で共同声明において、大学間連携等を通じて、教育分野での協力を更に強化する必要性が強調された。

概要

日-ロシア、インドの共通の課題や双方が強みを有する分野等で、教育プログラムを構築し、短期・長期の学生派遣と受入を組み合わせた大学間交流を拡充する。交流を通じて、来日する参加学生には、例えば、医学やIT分野であれば、我が国の医療現場やIT企業等を体験させるなど実地での教育を提供し、我が国の社会や文化に対する理解や関心を深める機会を提供する。また、プログラムを通じて蓄積された知見や経験等を集約したプラットフォームを構築する。

<地球儀を俯瞰した安倍外交の具現化>



安倍総理とプーチン大統領の会談の様子



安倍総理とモディ首相の会談の様子

平成29年度採択 交流推進プログラム: 8件(ロシア6件、インド2件)
 プラットフォーム構築プログラム: 2件(ロシア1件、インド1件)
 この他継続課題 9件(ロシア5件、インド4件)

期待される成果

- 採択大学の増により、日露/日印の首脳間で安倍総理から提示した人的交流拡大の目標達成に資する。
- 日露/日印間の大学間交流、人的交流の促進を通じて、首脳間で築かれた平和友好関係を強化するとともに、経済交流の促進など両国の安定と繁栄に寄与。
- ロシア、インドの連携大学との教育プログラム構築・実施に伴う我が国大学のグローバルな展開力の強化。
- 既存及び新規プログラムを構築・実施することで得た情報や経験を集約したプラットフォームを構築し、全国の国公私立大学と共有。